

生涯教育研修活動報告書

一般 検査研究班

- 1 実施日時： 令和3年11月5日 19時00分～20時00分
- 2 会場： Web開催 点数： 専門 — 20点
- 3 主題： 自宅で鏡検実習③！～あなたのパソコンが顕微鏡に!?（結晶・その他編）
- 4 講師： 中川禎己 (小川赤十字病院)
- 5 協賛： なし
- 6 参加人数： 会員 114 名 賛助会員 0 名 非会員 0 名
- 7 出席した研究班班員： 藤村和夫 小関紀之 柿沼智史 佐々木菜緒
渡邊裕樹 小針奈穂美 室谷明子 中川禎己
- 8 研修内容の概要・感想など

自宅で鏡検実習シリーズの第3弾として、～あなたのパソコンが顕微鏡に!?（結晶・その他編）～を研究班員の中川氏を講師に Web にて開催した。

無晶性塩類（尿酸塩、リン酸塩）の除去方法として、0.4%EDTA 加生理食塩水を用いる方法が紹介された。まず尿検体を遠心し、上清を除去して沈査を作成する。この沈査に 0.4% EDTA 加生理食塩水を加えて再度遠心し、沈査を作成して鏡検する。塩類を溶解して除去することで細菌などの細かい成分も鏡検がしやすくなる。ただし、検体によっては赤血球などの成分も壊れて減少する場合もあるので注意が必要である。

EDTA - 3K がない施設でも、抗凝固剤として採血管に入っているものを使用し作成が可能とのことであった。

続いて、各結晶成分、細菌、真菌、トリコモナスなどの鑑別ポイントから臨床的意義までを実際の鏡検像が動画で配信され、とても分かりやすい解説であった。また、各結晶成分は、形態的特徴、色調、尿 pH、30%塩酸や水酸化カリウムでの溶解の有無などを参考に鑑別するとの解説であった。

今回、中川氏が講演で使用した写真や動画は顕微鏡用カメラではなく、スマートフォンで撮影されたものであった。顕微鏡に専用カメラが設置されていない施設にとっては、尿沈渣の写真や動画の撮影ができる方法として、スマートフォンとアダプターを使用する撮影方法の

解説はとても参考になった。

各種成分の鑑別ポイント、臨床的意義を再確認し、日常業務に大いに役立つ講演であった。今回は、このコロナ禍で鏡検実習の現地開催ができないため、Web研修での鏡検実習を再現した研修会を企画したものであり、新たな可能性を感じる事ができた。

提出日 2021年11月17日
文責：小関紀之